



校長室便り

No.1

平成27年4月22日
尼崎市立常陽中学校
校長 小谷 豪 郎

20年ぶりに帰ってきました

本年度、4月1日より武庫東中学校から転任してまいりました。

といいまして、武庫北小学校の入学式で紹介された時も、父兄席から何人もの方が、背伸びをするようにしてこちらを見ておられたので、ひょっとしてあの頃の生徒達かな？と思いながら退場していくと案の定、卒業生の父兄に会いました。

本校の入学式でも、名前がパッと出てこないのですが（年と共に少々記憶に難あり）顔を見て何となく面影のある方、あの頃とほとんど変わらない方、何人か気がつきました。始業式で2・3年生に話をし、『35歳くらいから45歳くらいのお父さん・お母さんには、小谷先生が帰ってきたよって伝えて下さい』といったところ、次の週に懐かしい声でわざわざ、電話をしてくれた教え子が居ました。

『先生！元気ですか、お世話になった〇〇です、息子がお世話になっていますのでよろしくお願いします。』とすっかり良いお父さんになっていました。

朝の挨拶当番に来られたお母さんや、たまたま、仕事の帰りに立ち寄ってくれたお母さんもいました。みんなしっかりお父さん・お母さんをやっているな、と嬉しくなりました。

この常陽に努めたころは、朝から晩までバスケットばかり、休日も試合か遠征と家庭を顧みず自分の好きなことにのめり込んでいました、お陰で当時保育所に通っていた息子が、よその人に聴かれた時に「お父さんの仕事はバスケットボール」と言った始末でした。

転勤してきた当時は、尼崎で最後にできた学校ですごくきちんとしていて良い学校だ、という噂もありましたが実際に来てみると、そんな一面もありながら、授業に入らない子、シンナーに溺れている子、無免許でバイクに乗り回っている子、頭髮指導や服装指導に従わない子など様々でした。でも先生方が常に目をかけ、話しかけ、家庭訪問を繰り返し卒業生などの外との悪い繋がりを切り、何とか自立していけるように徹底して支援・指導していました、とても懐かしく思い出されます。

常陽を去るころ、ちょうど20年前に阪神淡路大震災があり、学校のすぐ南東の交差点で新幹線の橋桁が落ちて線路が宙に浮いていたのを横目に見ながら、何とか出勤できた先生方で、ガスの臭いがする校区内を巡回し生徒の安否確認をしたことが思い出されます。

最初は道場でしたが、人数が増えてきて技術室へ地域の避難者を受け入れ、教員も避難者の対応で交代で学校に泊まり込んで、配給の食糧を運んだり、トイレのような水をプールからトイレまで運んだり、大変だったけれど皆が真剣に生きる事を考え支え合い協力し合えてよかったと思います。これが常陽での最後の思い出でした。

常陽中学校を出てから教員現場を離れ、県教育委員会・国体準備室・阪神教育事務所・県民局・小田公民館・スポーツ振興課と教育行政の世界を15年経験しました。全くの別世界でしたが今考えるととても勉強になりました。また新しい気分で頑張りますので今後とも本校教育へのご支援ご協力をお願い致します。

入学式 式辞から

《前 略》

中学校生活で、しっかりと身につけて欲しい大切なことについて、今からお話しします。中学校生活は、義務教育の総仕上げの時になります、卒業して社会へ出ても恥ずかしくない、基本的な生活習慣やルールや規則を守るなど、最低限必要な常識的な事を身につけて卒業してゆくためにもつ次の三つを見に付けて下さい。

一つ目は「あいさつ」です、登校時に大きな声で「おはようございます」と元気な朝のあいさつで1日を始めましょう、人と人の繋がりはまずあいさつから始まります、これは学校だけではありません、社会に出てからはもっと厳しいでしょう。

中学生になり思春期を迎えると、家庭での会話が少なくなる、というようなことを良く聞きます、しかし、「おはよう」「行ってきます」「ただいま」「ありがとう」など、家庭内でもあいさつがあれば、そこから会話が始まります。

二つ目は「命を大切にしよう」ということです。生命の尊重と他者への思いやりの心について、小学校でもたくさん学んできたと思います、中学校では更に踏み込んで「命の教育」に取り組んで行きます、自分の命を大切にすることはもちろん、「他者の命」は当然、更に人間だけでなく「物の命」すなわち、物を大切にすることも含めて身につけて下さい。

三つ目は「お陰様」とか「ありがとう」といった感謝の心と態度を身につけることです。今、君達が、何気なくできていること、普通だと感じていること、当たり前と思っている事を、もう一度振り返って下さい。

友達、家庭、先生、地域の様々な人との関わりや沢山の支えがあることに気づくでしょう、自分を支えてくれる多くの人達への感謝や当たり前に対する感謝の心と態度を身につけて下さい。

《中 略》

今日から、皆さんは一人一人が、この常陽中学校の名前を背負って生活していきます。この学校での新しい出会いを大切にしながら自覚と責任を持った行動に心掛け、大人への一歩を踏み出して下さい。

皆さんの中学校生活が充実したものであることを期待し、式辞といたします。

《今月のことば》

『 今を最高に生きる 』

～目の前のことに全力で生きていく～

『目標に向かい、目の前のことに全力を尽くして

その1日1日を自分の全人生であるかのように

最高に生きていくこと自体が、素晴らしいことなのである。』